



ワーケーションウィーク オキナワ特集

令和3年度
沖縄テレワーク推進事業

休暇だけの沖縄なんてもったいない。これからの、WorkとLifeを考える16日間。

2021.11.13(Sat)-11.28(Sun)

アフターコロナを見据え、ワーケーションの可能性を探る。

リモートワークの定着によって、「仕事に対する考え方の変化」が生まれ、その先に「生き方の変化」も見られるようになってきました。その表れとして、「ワーケーション」「地方移住」「デュアルライフ」「パラレルキャリア」といった、場所にとらわれない生き方が挙げられます。ポストコロナ時代において沖縄は、「休暇を過ごす場所」としてだけでなく、「自分らしく生きる場所」として選ばれるポテンシャルがあると考えます。WorkとLifeが重なり合うワーケーションを起点に、沖縄を可能性あふれる場所にしたい。そんな沖縄の可能性を多くの人に知っていただく機会として、今年11月13日(土)～28日(日)を「Workcation Week Okinawa」とし、ワーケーションに関連する様々な取組を行います。

プレイヤー同士がつながり、リソースを補完し合う。

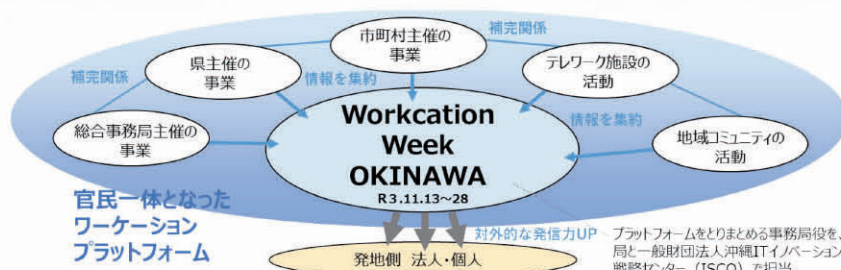
今、ワーケーションを手段に、関係人口の創出、企業誘致、離島の活性化、伝統文化の継承、人材の成長、新しい働き方など、多様なプレイヤーによって、様々な目的で、ワーケーションの取組が走り出しています。しかし一方で、ワーケーションは、まだ未知なるものです。手探りの今は、互いが連携を図ることで、対外的なプレゼンスを高め、足りないリソースを補完し合い、その結果、個々の事業の最大化を図るべきだと考えます。大切なことは、プレイヤー同士がつながり合って、ワーケーションの可能性を最大にすること。未知なるものに、答えを出していくこと。流行りで終わることなく、サステナブルな地域の発展につなげるために、競争ではなく、共創していきたいと考えます。

WWOの趣旨と目指す姿

「Workcation Week Okinawa」というプラットフォームを設け、ワーケーション関連事業、イベント、キャンペーンを集中開催し、お互いが連携できるようにします。沖縄全体で発信力のあるヤマをつくり、その結果、個別の事業効果の最大化を図ります。

< WWO 連携先 >

- ・沖縄県
情報産業振興課／企業立地推進課／
アジア経済戦略課／観光振興課／地域・離島課
沖縄県東京事務所／大阪事務所／
名古屋情報センター
- ・県内市町村
- ・県内テレワーク施設、まちづくり会社など



関連するイベント・プログラムの例

※下記は一部抜粋。
詳細・最新の情報はHPをご確認ください。

ウィーク期間中は、連携する団体・企業が、県内各地で新しい出会いや発見を提供します。

日付	イベント名
11/25-26	9th 沖縄大交易会 2021
11/18-19	ResorTech EXPO 2021 in Okinawa
11/20・22	WORKCATION WEEK OKINAWA サイクリング体験
11/17-20	【起業家向】IPO 経営者やエンジェルによる壁打ち&資金調達メンタリング
10/30-11/5・11/20-26	デポアイランド 親子ワーデューション
11/13-28	ヤッカヤッカコリピング @ 来間島 アーティストインレジデンスプログラム
11/18	沖縄型ジョブセッションセミナー
11/19	トヨブラドロップイン利用&マッチングプレ交流会
11/13・27	(仮) コザカクテルパーティー



WWO 参加テレワーク施設に、共通チェックイン用アプリを導入。

※導入施設はHPをご確認ください。

- WWO に来るお客様に、施設を体験・回遊していただきます。
- 県内企業にテレワーク施設を、体験利用していただきます。
- 実態把握が難しいワーケーションのマーケティングデータを取得し、参加施設と共有します。



①合計 4000 円分のお試しチケットをプレゼント。
②長期滞在者向けには、WWO 期間中、使い放題のサブスクチケット (9,800 円) を販売。

WWO をプロボノ※で支える人・企業

※プロボノとは、社会的・公共的な目的のために、職業上のスキルや専門知識を活かして取り組むボランティア活動を指します。

沖縄のワーケーション課題のひとつに、情報発信があります。「沖縄でワーケーション＝海を見ながら仕事」という、魅力の一部しか伝わっていません。沖縄でのワーケーションは、もっとたくさんの魅力に溢れており、沖縄を愛するアンパサダーの皆様に、情報発信の協力をお願いしています。

< WWO アンパサダー >

有木 真理 (株式会社リクルートライフスタイル沖縄 代表取締役) / 石川 貴志 (一般社団法人 Work Design Lab 代表理事) / 上原 仁 (株式会社マイネット 代表取締役社長) / 大瀬良 亮 (株式会社 KabuK Style 社長) / 椎木 磨美 (株式会社環 執行役員 CHO) / 高木 紀和 (株式会社リゾートワークス 代表取締役) / 田中 邦裕 (さくらインターネット株式会社 代表取締役社長) / 常盤木 龍治 (株式会社 EBILAB 取締役ファウンダー CSO CTO) / 橋本 正徳 (株式会社ヌーラボ 代表取締役) / 松本 国一 (富士通株式会社 シニアエバンジェリスト) / 箕浦 龍一 (一般社団法人官民共創未来コンソーシアム 理事) / 森戸 裕一 (一般社団法人日本デジタルトランスフォーメーション推進協議会 代表理事) / 吉越 輝信 (SAP ジャパン株式会社 エヴァンジェリスト) / 池田 大志 (複住スタイル コンセプター) / 田宮 一夫 (一般社団法人日本テレワーク協会 専務理事) / 花牟礼 真一 (株式会社かねひで総合研究所 代表取締役理事) / 斉藤 晴久 (株式会社 AnyWhere 代表取締役) / 福島 健一郎 (アイパブリッシング株式会社 代表取締役) / 中川 悠介 (アソビシステム株式会社 代表取締役) / 押切 加奈子 (合同会社 awabar 沖縄 代表社員) / 森田 次郎 (合同会社 1DO3 代表社員) ※令和 3 年 10 月 20 日時点

ワーケーションウィークは、多くの企業・団体との連携によってカタチ作られています。特に、サポーターの方々には、持っている専門性を可能な範囲でプロボノ提供していただいています。

< WWO サポーター >

FUJITSU | NTT Communications | JTB 沖縄 | RUB-LAB. | みらいおきなわ | ジョルダン | Jorte | パーソナルテクノロジースタッフ
※令和 3 年 10 月 20 日時点

最新情報は WWO サイトへ

<https://tele-okinawa.go.jp/wwo2021>



WWO ロゴ誕生秘話

“ワーケーションを通じて人と人がつながり、その輪が、沖縄が、大きくなっていく”という思いが込められたロゴマーク。実は、富士通の一般社員の方に、プロボノで作成していただきました。その方は、永尾 瑛里菜さん。日頃は、ライフサポート (福利厚生) を扱うチームで働いています。「デザイン部門と連携して仕事をする機会があり、自分の伝えたいことがデザイナーを通すことにより、新しい伝え方が生まれたこと、選択肢が増えていく過程が面白く、学んでみたいと思いました。直感的に行動することが年々難しくなっていて、“やらなかった後悔”が増えていたので、今やりたいことをやる機会があるなら挑戦してみようと思い参加しました。」との事。デザイナー未経験ということで、本ロゴはなんとパワーポイントを駆使して作成いただいています!

